

## 情 報 公 開 文 書

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 研究の名称                               | 急性腎盂腎炎の分離菌と薬剤感受性に関する多施設共同後方視的観察研究   |
| 整理番号                                |   |
| 研究機関の名称                             | 研究代表機関 富山大学附属病院<br>共同研究機関 黒部市民病院、島根大学、姫野クリニック、札幌医科大学、札幌中央病院、滝川市立病院、NTT 東日本札幌病院、こうよう泌尿器科クリニック、砂川市立病院、帯広協会病院、北海道医療センター、JCHO 北海道病院、坂泌尿器科、王子総合病院、岡山大学、東京大学、あいクリニック、ながえ前立腺ケアクリニック、国際医療福祉大学、川西市立総合医療センター、弘前大学、むつ総合病院、十和田市立中央病院、大館市立総合病院、市立函館病院、藤田医科大学、藤田医科大学ばんたね病院、帝京大学、産業医科大学若松病院、広島大学、中国労災病院、東京慈恵会医科大学葛飾医療センター  |
| 研究責任者<br>(所属・氏名)                    | 富山大学附属病院 泌尿器科 病院助教 桧山 佳樹  |
| 研究の概要                               | <p>【研究対象者】<br/>2018年1月1日から2023年12月31日に急性単純性腎盂腎炎と診断を受け、抗菌薬治療を受けた16歳以上の患者さんを対象としています。本研究の対象者には16歳以上の未成年者が含まれているため、親権者等に対する情報公開も含んでいます。</p> <p>【研究の目的・意義】<br/>原因菌の分布を調べることで、より適切な抗菌薬を早期から選択することができることを期待しています。</p> <p>【研究の方法】<br/>診療録より症状や採血や尿の検査結果を収集、解析します。</p> <p>【研究期間】<br/>実施許可日 ～ 2026年12月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】<br/>学会や学術誌での発表を予定しています。</p> <p>【利益相反の状況】<br/>この研究において公開する利益相反はありません。</p> |
| 研究に用いる試料・情報の項目と利用方法<br>(他機関への提供の有無) | 既に検査された検査結果を電子カルテより情報収集を行います。この研究は多施設共同研究であり、当院へ他機関から個人情報や伏せた状態で提供を受けません。収集しました情報を他の機関へ提供することはありません。学会などの発表の際には、個人情報保護に留意し、個人の特定が出来ないようにします。  |
| 研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名         | 富山大学附属病院長 林 篤志  |
| 研究資料の開示                             | 研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。   |
| 試料・情報の管理責任                          | 黒部市民病院 泌尿器科 森井 章裕   |

|                          |  |
|--------------------------|--|
| 者（研究主機関における研究責任者氏名）      |  |
| 研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口 | 研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。<br>電話 076-434-7372<br>FAX 076-434-5039<br>E-mail mayahi55@med.u-toyama.ac.jp<br>担当者所属・氏名 富山大学附属病院 泌尿器科 桧山 佳樹 |